

法律学の森



不当利得法〔全訂第2版〕

藤原正則 著

A5変・上製・572頁 定価：7,480円（税込） ISBN978-4-7972-2395-8 C3332

2002年の初版以来、待望の改訂版

本書の初版を2002年に公開してから、実に22年以上の歳月が経過し、その間、債権法改正、物権法改正、相続法改正など多くの改正がなされていて、その内容を整理すべく、わが国の学説が影響を受けたドイツ法の近年の研究成果も取り入れつつ、ドイツ法理論の背後にある歴史的経緯・目的も併せて明らかにしながら、新しい判例、学説を考慮した初版以来の待望の改訂版です。

【目次】

◆第1部 不当利得の基礎◆

- 第1章 不当利得という法制度
- 第2章 衡平説から類型論へ
- 第3章 わが国の不当利得の類型論

◆第2部 給付利得◆

- 第1章 給付利得の意義
- 第2章 給付利得の要件
- 第3章 非債弁済の不当利得
- 第4章 目的消滅の不当利得
- 第5章 目的不到達の不当利得
- 第6章 不法原因による給付の不当利得
- 第7章 給付利得の効果

◆第3部 侵害利得◆

- 第1章 侵害利得の意義
- 第2章 侵害利得によって保護される権利・財産
- 第3章 侵害利得の効果
- 第4章 所有権および割当内容を持った権利
- 第5章 他人の債権の回収による侵害
- 第6章 知的財産権およびそれに類似した権利の侵害
- 第7章 執行行為による利得
- 第8章 準事務管理

◆第4部 支出利得◆

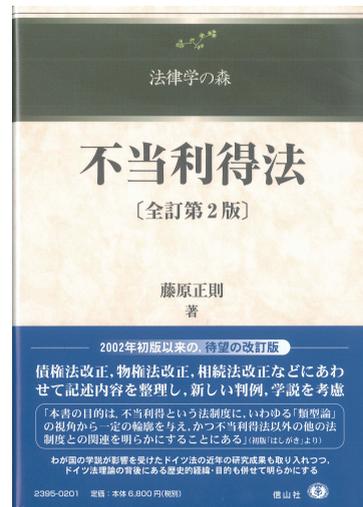
- 第1章 支出利得の意義
- 第2章 求償利得
- 第3章 費用利得
- 第4章 主観的価値と客観的価値

◆第5部 対第三者関係◆

- 第1章 不当利得法における対第三者関係の意義
- 第2章 対第三者関係の規律の基本的視角
- 第3章 給付利得の事例
- 第4章 侵害利得の事例
- 第5章 金銭騙取の不当利得
- 第6章 転用物訴権
- 第7章 対第三者関係の全体的構造

◆第6部 不当利得の消滅時効◆

- 第1章 不当利得返還請求権の消滅時効
- 第2章 消滅時効の起算点



刊行：2024年11月30日

〒113-0033 東京都文京区本郷6-2-9-102 東大正門前
TEL:03(3818)1019 FAX:03(3811)3580 E-mail:order@shinzansha.co.jp



信山社
http://www.shinzansha.co.jp